

# 特定非営利活動法人 冒険あそび場-せんだい・みやぎネットワーク

## 2023(令和5)年度 事業報告書

(2023年6月1日～2024年5月31日)

### 2023年度事業概要

2023年度は、新型コロナウイルス感染症の感染症法での位置づけが5類に移行したことを受け、遊び場活動をはじめ、地域行事等も徐々にコロナ禍前に近い実施状況に戻ってきている。とは言え、感染症自体が無くなったわけではなく、心理的な面も含めると、まだまだ配慮の必要な部分が残る一年だった。コロナ禍のなか高まってきた「こんな時だからこそ外へ」というニーズの行方も注視が必要である。

そんな中、4年目となった仙台市の「遊びの環境の充実」施策では市民によるプレーパーク活動を支援する「プレーパーク活動等運営補助事業」がスタート、併せて「プレーパーク活動等普及啓発事業」(あそびば仙台)も実施された。また、宮城県も県立加瀬沼公園でのプレイパーク事業を開始するなど、県内での自治体の動きは着実に進んでおり、冒険あそび場-せんだい・みやぎネットワークとしても積極的に提案・事業への参画など協働の取組みを進めた。またそうした中、市民側の動きを積極的に支援するべく、毎年開催を前提とした「プレーリーダー養成講座初級編」を始めた他、市事業とも連携して人材育成の機会づくりに努めた。

一方、再開後2期目(6年目)となった「海岸公園冒険広場」についても、子どもたちや保護者が主体的に遊ぶ場としての基本的な役割は果たしつつ、引き続き地域との連携を深めて震災被災地域への貢献に努めると共に、沿岸部全体の交流を生む役割を果たした。また、屋外での活動を拡充してきている「のびすく若林」についても、アウトリーチ事業を充実させるなど進展が見られた。その他、プレーカーで巡回する遊び場についても、活動場所の見直しなども進めながら継続的に取り組むと共に、そこで見えたニーズを受けて居場所づくり事業の実施準備に入るなど新たな展開をみている。

## ◎ 事業計画に掲げた「重点的取り組み」の達成度評価について

2023年度事業計画において掲げた6つの重点的取り組みについて、4段階の達成度評価を行なった。定款に沿った事業区分に基づく「1. ～ 9.」の記載内容との対照と合わせ、本表にまとめる。

「重点的取り組み」項目	主な事業	定款区分	達成度評価 (◎-○-△-×の4段階)
① 海岸公園冒険広場の着実な運営と、周辺も含めた展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理者としての海岸公園冒険広場の着実な運営</li> <li>沿岸部の他の活動・施設とも連携しての賑わい・交流の創出</li> <li>震災の「記憶」の保存・記録・発信や、経験を活かした事業による防災への貢献</li> <li>冒険広場および周辺地域の魅力を引き出す、生き物調査・みどり再生活動</li> <li>震災を伝えるほか、体験活動等も含めた学校の授業等への協力</li> </ul>	1. 2. 4. 5. 6. 8.	◎ 「コロナ5類移行」を経て迎えた本年度、人数はやや減ったものの、自主事業も含め、様々な工夫をしながら来園者を受け入れた。 2. 4. 5. 6. 8. 周辺団体・施設との連携事業に取り組みと共に、全国都市緑化仙台フェアの機会も活かしながら、自由な遊び場の価値から沿岸部の魅力、震災や防災・減災まで、さまざまな発信を行なった。
② 震災被害の大きかった地域を中心に取り組む遊び場づくり等	<ul style="list-style-type: none"> <li>東日本大震災被災地域周辺での遊び場活動(東日本大震災復興支援財団子どもサポート基金事業)</li> <li>上記活動の場を中心とした、サロン事業等の継続</li> </ul>	1. 3. 5. 8.	◎ 昨年度と同じく定期的な開催を継続。これに伴って常連の子ども・保護者も増え、居場所として役割がますます高まっている。
③ 地域住民による遊び場づくり活動の促進・支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民などの遊び場づくり活動のはじめの一歩の積極的支援</li> <li>住民発意による遊び場運営の促進・支援(ハタチ基金助成金事業)</li> <li>定期開催を見据えたプレーリーダー養成講座の実施</li> <li>北山活動ベースを拠点とした市民ネットワークづくり</li> </ul>	2. 4. 5. 6. 8.	◎ 昨年度に続き個人・既存団体からの活動支援要請に応えた他、主催した養成講座の受講者・今年度受託した仙台市「プレーパーク活動等普及啓発業務」において発掘・育成した担い手のフォローアップ・ネットワークづくりにも取り組んだ。
④ 子ども・子育て支援計画の策定も受けた、調査・提言・実践活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>「仙台市百年の杜づくりプロジェクト推進計画」策定後の施策動向の確認・参画</li> <li>仙台市が実施する「プレーパーク活動等普及啓発業務」の受託実施</li> <li>仙台市がスタートさせる「プレーパーク等運営補助事業」の実施状況の確認・提案</li> <li>宮城県が県立加瀬沼公園でスタートさせるプレーパーク事業への参画</li> <li>県内自治体の子ども・子育て支援計画の調査と施策動向の確認</li> <li>こども家庭庁の施策実施動向のフォローアップ</li> </ul>	2. 3. 7. 8.	◎ 仙台市「プレーパーク活動等普及啓発業務」に取り組み、市内の既存資源の遊び環境としての可能性を示すとともにプレーパーク活動の市内への普及・展開および担い手の発掘・育成を図った。 8. 県立公園でのプレーパーク事業も受託し、県内へのプレーパーク活動の普及・啓発につなげている。
⑤ のびすく若林と連携した、乳幼児親子への遊びの大切さの発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>のびすく若林の日常運営のなかでの、ふるさと広場も活用した外遊びの機会の創出</li> <li>「おそとのびすく in ノノ下公園」「出前のびすく」の継続的な展開</li> <li>②の遊び場活動とも連携した、「てくてくプレーパーク」の展開(のびすく若林連携事業)</li> </ul>	8.(8)	◎ 日常的な外遊びの取り組み「おそとのびすく」およびイベントの形をとる「のびすくプレーパーク」を、のびすく若林に隣接する若林区ふるさと広場で実施すると共に、出張形式の「おそとのびすく in ノノ下公園」「てくてくプレーパーク」についても定期開催した。
⑥ 組織運営基盤づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>ここまで整えてきた組織体制の安定化</li> <li>長期的な収支見通しを見定める</li> <li>施策動向をにらみ、人材育成の方向を見出す</li> </ul>	9.	○ 新体制のもと、外部との連携を通じて、冒険遊び場の普及に向けた将来像が見えてきているが、長期的な収支見通し・人材育成の方向性の検討は、継続課題となっている。

## 1. 子どもの育ちを支える地域活動を行なう団体や個人とのネットワークをつくり、それを広げる事業

### (1) 事業実施にあたっての、連携組織の構築：海岸公園冒険広場運営委員会

地域に根差した公園運営を目指し、地域関係者を委員にした運営委員会を開催した。

- ・東六郷コミュニティ市民委員会
- ・七郷地区町内会連合会
- ・六郷小学校、七郷小学校
- ・仙台市私立幼稚園連合会若林地区
- ・六郷市民センター・児童館
- ・七郷市民センター・児童館
- ・せんだい3.11 メモリアル交流館
- ・仙台市若林消防署六郷分署
- ・仙台市若林区まちづくり推進課
- ・仙台市若林区公園課
- ・仙台市建設局公園管理課、百年の杜推進課
- ・海岸公園馬術場

### (2) その他、他団体とのネットワーク

- \*NPO法人せんだいファミリーサポート・ネットワークとの乳幼児事業における連携（事業8.(2)(8)等）
- \*仙台市プレーパーク活動普及啓発事業における連携（都市デザインワークス、西公園プレーパークの会、プレーワーカーズ、せんだいファミリーサポート・ネットワーク、むすびテラス、よへえぬまプレーパーク、あそびのうつわをひろげる会、青葉山エリアマネジメント、八本松児童館）
- \*海岸公園各地区指定管理者による「海岸公園運営協議会」（仙台市公園緑地協会事務局）
- \*ふるさと杜再生プロジェクト（仙台市百年の杜推進課事務局）委員
- \*宮城県子ども・若者支援会議（チャイルドラインみやぎ事務局）参加
- \*仙台東部エリア交流施設連絡協議会（荒井タウンマネジメント事務局）参加
- \*わたしのふるさとプロジェクト（六郷市民センター事務局）参加
- \*日本冒険遊び場づくり協会 地域運営委員

上記の他、事業8.の各事業実施にあたり、地域団体、NPO、児童館、市民センター、小学校等、多くの団体と連携を行なった。

## 2. 冒険あそび場の活動等に関する情報の収集・ならびに提供に係る事業

### (1) 宮城県内外の冒険遊び場活動についての情報収集・発信

理事会を中心とした仙台市周辺の冒険遊び場活動についての情報交換に加え、プレーリーダー養成講座・仙台市「プレーパーク活動等普及啓発業務」の取り組みも通して広がり深まった他団体・個人とのネットワーク等を通じて、県内外の遊び場づくり活動の情報を収集すると共に、活動に関心のある人たちに紹介した。

### (2) ホームページ・SNSを活用した情報発信

<HP> <https://bouken-asobiba-net.com/> <Instagram> [https://www.instagram.com/bouken\\_asobiba\\_net/](https://www.instagram.com/bouken_asobiba_net/)

昨年度全面リニューアルし情報発信力強化を図った法人HP経由の問合せは引き続き相次いでおり、活動に参加するボランティア増加にも寄与している。プレーパークを利用する子どもの保護者がスマホ世代であることを踏まえ、この世代の利用者数が多い法人Instagramアカウントに開催情報を月次で掲載し始めたところ、「次回の開催日時が確認しやすくなった」という声が多数寄せられた。

### (3) 「東日本大震災から10年の記録」の配布

前年度末に発行した、東日本大震災発生後の活動をとりまとめた冊子「冒険あそび場から見てきたものー東日本大震災から10年の記録」の配布を行なった。なお、活動ノウハウの共有・普及のため、一部はハタチ基金による助成を受けて遊び場活動団体等に無償配布した。

### (4) 取材・報道等への協力

事業8.を中心に、新聞や情報誌等のメディアの取材に協力した。

<新聞> 静岡新聞 11/17 他 「メダカ暮らす古里ふたたび～環境整備復興の象徴に」 他（共同通信配信記事）  
河北新報 4/22 《市民の輪・とびらを開く》加瀬沼公園プレイパーク 子どもの遊び、自由に

<テレビ> NHK ニュース 10/24 《地域に注目：利府町》“自然と触れ合い遊ぶ” プレーパーク開設  
 <雑誌・広報誌等> 仙塩・利府の無料タウン誌『SMILE』5月号「モリリン加瀬沼公園にプレイパークエリア」が誕生 他  
 <その他> 仙台市政だより 1月号「《震災文庫を読む》 忘れたくない、1人ひとりの豊かな暮らしの記憶」(寄稿)  
 仙台市政だより4月号「せんだい子育てインフォメーション<第1回>プレイパークで遊ぼう！」  
 みやぎ県政だより5・6月号「県政ニュース 加瀬沼公園プレイパークで遊ぼう！」 他

### 3. 地域社会の子育て、遊びに係る調査・研究事業

#### (2) 若林区六郷東部地域における「遊びの原風景」調査と、マンガによる発信

昨年度4月より法人HPで開始した「身近なトコで、こんなに遊べる!? ～昔のコドモが遊んだ経験から、育ちの環境づくりを探る～」の連載を今年度も継続し、8月25日まで全24話を公開した。2024年度に応募する「仙台市遊び場展開事業業務」の会場の一つである深沼海水浴場でも展示し、周辺地域の年配の方の豊かな遊び経験に来場者が触れる機会を創出したいと考えている。

#### (3) 自治体・国の遊び政策調査

県内の各自治体の遊び場施策について、子ども子育て施策に関するweb上の公開情報をベースに調査を行った。

### 4. 冒険あそび場づくりへの相談・支援に係る事業

冒険遊び場づくりへの相談のほか、遊び場づくり団体、その他NPO、行政、学校、研究者等から寄せられる各種相談に対応、必要に応じ具体的な支援も行なった。

#### (1) 地域主体の遊び場づくり支援 【ハタチ基金助成】

仙台市も「プレイパーク活動等運営補助事業」を開始した2023年度も、新たに活動をスタートする団体への支援をはじめ、県内各地での遊び場づくりに関する相談・支援を行なった。活動場所の特性や地域のニーズ、担い手一人ひとりの思いに合った方法をとともに探り実現する支援を心掛けた。今年度は事業6.(1)みやぎプレーリーダー養成講座や、事業5.(1)仙台市プレイパーク活動等普及啓発業務・各ハタチ基金助成事業と連携した研修・交流会を通じて担い手の発掘・育成、子どもの保護者への普及・啓発も進め、子どもの遊び環境の充実に寄与することができた。

- ・貝ヶ森プレイパーク(青葉区) 開催開始支援 8/16(水)、9/24(日)、11/10(金)、2/3(金)
- ・六郷保育園隣接「キッズファーム」(若林区)でのあそび場展開支援 …事業8.(2)④
- ・よへえぬまプレイパークの活動支援(宮城野区)  
5/10(水)、5/28(日)、6/25(日)、9/13(木)、11/26(日)、2/14(日)、3/13(日)
- ・あそびのうつわをひろげる会「あそびカフェ」(青葉区)の活動支援 月1回 計12回
- ・あさひがおかミニプレイパーク(青葉区)の開催支援 1/7(日)、1/27(日)、2/24(日)
- ・ふるじろプレイパーク(若林区)の活動支援 月1回 計8回
- ・「楽農村」(岩沼市)の活動支援 …事業8.(2)⑦
- ・ふうどばんく東北 AGAIN「とみやっこプレイパーク」開催支援(富谷市)  
4/7(金)、4/14(金)、5/12(金)、6/30(金)、8/4(金)、9/15(金)、10/6(金)、11/17(金)、12/8(金)  
1/12(金)、2/9(金)、3/8(金)、3/22(金) 計13回
- ・「あすとのおそびば」(長町地区)活動支援 10/21(土)、3/23(土) あすと長町中央公園
- ・大和町教育委員会「あそび場どうじょ」 10/7(土) 鶴巻教育ふれあいセンター  
1/20(土) 吉田教育ふれあいセンター
- ・4/5(金)、5/10(金) Open Village ノキシタ「プレイパークノキシタ」開催協力(原則毎月第1金曜日開催)
- ・その他、「泉区でのプレイパーク開催」「青葉区勝山東公園でのプレイパーク開催」等 相談支援

## (2) 講師派遣等

- ・5/16(木)新田東すいせんこども園
- ・7/15(土)ひがしねあそびあランド「10周年記念 プレイカー大集合！」
- ・8/3(木)・4(金)富谷市社会福祉協議会 福祉体験教室
- ・10/13(金)泉館山高校 総合的な探求の時間 地域団体交流会
- ・10/29(日)南光台東子ども会育成会インリーダー研修

## (3) 研究者・学生からのヒアリングへの対応等

- ・11/11(土)・12(日)・27(月)・28(火) 東北工業大学建築学部 建築学科 学生「街区・近隣公園における小学生の遊びが促進される条件に関する研究 ～プレーリーダー有無の比較～」
- ・4/18(木)29(月)宮城大学地域創生学類学生

○視察・見学受入れ等（海岸公園冒険広場）

## 5. 冒険あそび場の普及・啓発、及び運営に係る事業

### (1) 仙台市プレーパーク活動等普及啓発業務（あそびば仙台）の受託実施

2020年度の「遊びの環境に関する調査・研究業務」・2022年度の「遊びの環境に関する実証実験業務」を受け、仙台市は今後の遊びの環境の充実のための方向性の一つとして「プレーリーダーの居る日常の遊び場の普及」を挙げ、前記「プレーパーク活動等運営補助事業」を創設すると共に、「プレーパーク活動等普及啓発業務」を実施することとした。この普及啓発事業について、NPO法人都市デザインワークスと組む共同事業体「せんだい遊びとまちネットワーク」(当会が代表団体)として応募し受託実施した。

本業務では、プレーリーダーを配置したプレーパークを下記の日程で開催すると共に、各回に合わせてボランティアスタッフを募集・研修を行い人材育成の役割も担った。

【1】	8月19日(土)・20日(日)	広瀬川河川敷(西公園南側地区側)	水辺・河原でのプレーパーク開催
【2】	9月23日(土)・祝	あすと長町 杜の広場公園	市街地の公園でのプレーパーク開催
【3】	11月4日(土)・5日(日)	台原森林公園(自由広場)	森の中の公園でのプレーパーク開催

(→市HP:「令和5年度仙台市プレーパーク活動等普及啓発業務委託」について)

なお2024年度は、「仙台市遊び場展開事業業務」の公募型プロポーザルも実施される運びとなった。

### (3) 若林区を中心とした、海岸公園冒険広場と連携した巡回型遊び場の運営 (→事業8. 参照)

指定管理者として運営する海岸公園冒険広場と連携する形で、若林区六郷・七郷地域を中心に、プレーカーを活用しての巡回型遊び場を運営した。

### (2) 宮城県を中心とした遊び場活動の支援 (→事業4. 参照)

仙台市を中心に、県内各地で始まっている遊び場づくりの取り組み等を支援するため、プレーリーダー派遣等を行った。

## 6. プレーリーダーの養成に係る事業

新たにプレーパーク活動を始める活動者が増加傾向にあることを受けて、その支援につながるような講座・研修・交流会等開催に力を入れた。とりわけ「みやぎプレーリーダー養成講座初級編」は、毎年1回は実施することを目指した、継続を前提としたプログラムとなっている。こうした講座は仙台市プレーパーク活動等普及啓発業務に参画したボランティアのフォローアップにもつながった。また、乳幼児の保護者の支援を目的とした遊びを通じた子育て講座の開催にも取り組んでいる。

(1) 講座・研修等

実施日	内容	講師等	実施枠組等	対象
2023/6/12	市民防災の日「シェイクアウト訓練」	内部研修	海岸公園冒険広場 指定管理業務	スタッフ
6/17 6/18	みやぎプレーリーダー養成講座 初級編～子どもがいきいきと遊ぶ 環境をつくる～	プレーワーカーズ 廣川和紀氏	「ハタチ基金」事業	インターン生 活動者 ボランティア 一般
12/10	大和町での遊び場づくりミニ相談 会・研修会	当会 三浦忠士・斉 藤信三	「ハタチ基金」事業	活動者
11/2	避難誘導・防災あずまや設置訓練	内部研修	海岸公園冒険広場 指定管理業務	スタッフ
2024/1/14	プレーパーク交流会 学習会「県内のプレーパーク活動 事例を知ろう」	(事例紹介) 貝ヶ森プレーパーク がまっこぶれーぱーく	仙台市プレーパーク 活動等普及啓発業務 「ハタチ基金」事業	ボランティア 活動者 一般
1/16	普通救命講習	仙台市消防局	海岸公園冒険広場 指定管理業務	スタッフ
2/26	こそだて応援隊！ミニ講座 第1回「ことば」で遊ぼう！！	あっぷる保育園 杉山秀子氏	「ハタチ基金」事業	一般
3/4	こそだて応援隊！ミニ講座 第2回「おもちゃ」で遊ぼう！！	プレーワーカーズ・ おもちゃコンサルタント 廣川紘子氏	「ハタチ基金」事業	一般
3/13	プレーパークに使うもの・貸し出 せるもの相談会	(担当 三浦)	「ハタチ基金」事業	活動者
3/13	プレーパークづくりミニ情報交換 会「どんな支援があると、活動に 取り組みやすくなる？」	(担当 根本)	「ハタチ基金」事業	活動者
3/25	こそだて応援隊！ミニ講座 第3回「どうぐ」で遊ぼう！！	当会 羽賀 崇子	「ハタチ基金」事業	一般

(2) インターン受入れ

- ・SOMPO 環境財団「CSO ラーニング」長期インターン生（8か月）2名 受入れ
- ・NPO 法人ドットジェイピー インターン生（2か月）2名 受入れ

(3) 体験高校生体験ボランティア受入れ

- ・社の伝言板ゆるる「NPO で高校生の夏ボラ体験」受入れ …夏休み中3日間 海岸公園冒険広場
- ・東北大学課外・ボランティア活動支援センター ボランティア支援学生スタッフ“SCRUM” ボランティア活動体験会協力  
3/13(水) 説明会 → 3/16(土)1名・25(日)2名 計3名（およびSCRUM スタッフ）受入れ  
5月 [東北大学 SCRUM ブログ](#)にて報告公開

7. 子どもの遊び・成育に関わる施策提言に係る事業

(1) 仙台市プレーパーク活動等普及啓発業務 →事業3.(1) 仙台市プレーパーク活動等普及啓発業務

(2) 仙台市みどりの基本計画の新計画期間の施策動向の確認・提案

「仙台市みどりの基本計画及び「百年の杜づくりプロジェクト推進計画 2021-2025」に記載された「プレーパークの拡充」や、「プレーパークの普及啓発、プレーリーダーの育成推進、活動の内容に応じた柔軟な公園運用」については、まずは上記ことも若者局事業の中で取り込まれることになったため、同事業の実施に協力する中で、課題の把握・提案等を随時行なった。

(3) こども家庭庁設置に関連した施策動向の確認

こども家庭庁設置に伴い検討される居場所づくりについての事業実施見通しについて、日本冒険遊び場づくり協会学習会などの機会も利用し、情報収集した。

## 8. 行政との協働事業を含む先駆的、実験的なまちづくりや地域づくりの推進に係る事業

### (1) 海岸公園冒険広場の運営 【仙台市指定管理業務】 (株)東洋緑化と共同企業体を構成し運営) 週6日開園(毎週火曜日休園) 来園者数:約12.6万人(2023.4~2024.3)

2023年度は、夏場の猛暑や来園者の多い時期の天気の影響も受け、前年度と比べて減少に転じた。新型コロナウイルス感染症の5類移行を受け、屋外にこだわらず比較的自由に遊びに行けるようになったことも、来園者数の減少につながった可能性がある。

猛暑に関しては、新型コロナウイルス感染症以上に対策を求められたが、ふわふわドームの利用停止などの措置をとるだけでなく、灌水チューブを使った噴水遊具、手作りのウォーターライダーやプールといった水遊び、日よけネットを使った日陰の増設など、管理を強めるだけでなく、暑い中でも遊べるように工夫した。また引き続き園内をひろびろと遊べるようにする工夫(前年度に続きバス駐車場の遊び場としての開放、虫取りなどの遊具以外の遊びきっかけづくり)を行い、HPなどで発信して来園者の会得に努めた。

自主事業についても、園内の草花を使っての染物など引き続き屋外を中心に「密」にならない工夫をしながら実施した。今年度もびすく若林と連携して未就園児向けのイベント等も行った。

市街地と海岸公園をつなぐ周辺地域での巡回型遊び場・地域行事協力も(2)(3)の通り六郷・七郷地区を中心に継続、地域連携・普及啓発に引き続き努めた。特に本公園のある井土地区周辺での「ひろびろとした環境を活かした遊び場」については通年で実施し、町内会やまちづくり推進委員会、生産組合と連携しながら、イナゴ採りや水遊び等身近な自然や地域で遊ぶことを再認識してもらった提案を行うことができた。

再開後の重要な役割である震災伝承・防災についても継続して取り組んだ緑化フェアに合わせた防災展示(屋外での展示の強化、屋内では新たに防災グッズの展示)をはじめ、継続実施している防災あずまの設営訓練については海岸公園馬術場のスタッフも招いて実施し研修の機会とした。その他、学校の教育活動への協力、行政の視察受け入れ等にも取り組んだ。

### (2) 冒険広場周辺地域で開催する遊び場

海岸公園冒険広場周辺被災地域を中心とした巡回型の各あそび場は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響でいったん休止したのち、2021年度できるところから徐々に再開してきたが、今年度は、できるだけ「継続的に訪れることのできる居場所」としての役割を強めることを意識して、規模は大きくできなくても定期的に実施することを目指した。

#### <若林区:七郷地域の遊び場> ①②

七郷地域では、集団移転先・復興公営住宅も多く立地すると共に、地下鉄東西線開通も受けて増え続ける住民の受け皿になっている区画整理区域を中心に、新住民同士、新住民と旧住民、各校の児童同士など多様な交流の場となる遊び場づくりを目指してきた。

今年度は、コロナ禍対応で荒井七丁目公園に移して小規模に実施していた定期開催の遊び場活動を、より充実した活動が展開可能な七郷中央公園に戻して継続すると共に、乳幼児親子を主対象とするてくてくプレーパークも同じく七郷中央公園で展開することで、参加者のさらなる定着を目指した。

#### ① 七郷中央公園冒険あそび場 計24回 のべ1322名【子どもサポート基金助成】

荒井七丁目公園の遊び場を6月から七郷中央公園に戻し、近隣小学校、町内会へのチラシの配布を開始した。3年ぶりの七郷中央公園での再開だったが、かつて活動に参加していた高校生が半分スタッフのような形で遊びに来るようになり、これまで積み上げてきた活動の成果を感じられた。

仙台市内のさらなるプレーパーク活動の充実を推進していく意図を込め、2024年4月からは「七郷中央公園プレーパーク」と名を改めた。

#### ② てくてくプレーパーク(七郷中央公園他)計10回のべ356名【のびすく若林連携事業】

2022年9月に伊在二丁目公園でスタートした乳幼児親子を主対象とした遊び場。初めての夏季開催

を迎えるにあたり、木陰の多い七郷中央公園に会場を移したところ、七郷中央公園冒険あそび場との連続性も生まれるようになっていいる。要請を受けて他地区で実施することも想定しており、今年度はあっぴる荒井こども園でも実施した。

#### ＜若林区：六郷地域の遊び場＞ ③～⑤

若林区六郷東部地区（旧東六郷小学区周辺）で被災した人の多くは、同じ六郷地域のやや内陸の場所（六郷小学校学区周辺）に移り住んだため、移転先の地区と現地再建地域の双方で遊び場活動を実施してきた。このうち、移転先地区の活動について、月2回の定期開催になった久保田東あそび場と、その近隣で開催している六郷保育園隣接「キッズファーム」での遊び場の連携を意識して取り組んだ。

#### ③ 久保田東あそび場（久保田東3号公園）計22回 のべ457名【子どもサポート基金助成】

防災集団移転促進事業による「六郷地区」に設立された久保田東町内会の集会所に隣接する公園での遊び場。震災により転居してきた人とそうではない人との間を取り持つ役割も含め、多世代の交流の場となることを目指してきた。地域に開かれた子どもの居場所を目指しているキッズファームでの遊び場の広報にも力を入れ、遊びに来ている子どもの活動範囲が広がるような声掛け、取り組みも行った。保護者が片付けに参加したり、他の家の子どもも食べられるように差し入れを持ってくるなどの遊び場への参画の場面も見られたほか、複数の保護者が子どもを迎えに来た際には、その場で大人同士が話しはじめ、交流をしていくこともあった。

仙台市内のさらなるプレーパーク活動の充実を推進していく意図を込め、2024年4月からは「久保田東プレーパーク」と名を改めた。

#### ④ <<連携>>六郷保育園隣接「キッズファーム」でのあそび場 計13回 のべ259名

【子どもサポート基金助成】および【ハタチ基金助成】

六郷復興公営住宅のやや北側、久保田東地区からもほど近い場所が開園した六郷保育園を運営する一般社団法人保育アートラボとの連携事業。継続的な開催によって顔見知りになった六郷保育園の園児と小学生、中学生が交流し、遊びを通じた異年齢集団が形成されている。

2022年度は、昨年度から継続してきた「変化し続ける遊び環境」の中でも大きな変化として、「MDRT日本会」のボランティアの皆さんにも協力をもらいながら、新しい池が作られて、さらに子どもの遊びの幅が広がった。また4月からは、保育アートラボの「第三の居場所」へ向けての新事業「だがしやきち」との連携も始まり、より日常的な子どもの遊び場、居場所になりつつある。

#### ⑤ 東六郷であそぼう（井土地区周辺）計3回 のべ60名【子どもサポート基金助成】および【ハタチ基金助成】

六郷東部の現地再建地域において実施している「遊びの原風景」調査で地域の大人から聞いた子どもの頃の思い出の話を活かす遊び場活動を、今年度も開催した。今も地域に残る子どもの遊ぶ環境の魅力を再発見し伝えていくことを目指した。

- ・9/30(土)「東六郷であそぼう」(六郷東部二木地区)参加者13名
- ・10/11(水)「東六郷であそぼう～田んぼにイナゴを探しに行こう！」(井土)参加者30名
- ・2/11(土)「東六郷であそぼう！氷で遊ぼう」(井土集会所周辺)参加者17名

他に、せんだい3.11メモリアル交流館・海岸公園冒険広場共催企画「井土浜の竹竿でハゼ釣り！」を9/23(土)実施

#### ＜仙台市宮城野区：田子西地域の遊び場＞ ⑥

#### ⑥ <<連携>>ノキシタでの遊び場 計12回 のべ257名【子どもサポート基金助成】

防災集団移転促進事業の移転先になっている田子西地区・同隣接地区の町内会を支援する形で継続実施してきた遊び場はコロナ禍により休止したまま再開できなかったが、隣接地の多目的交流施設「Open Village ノキシタ」における乳幼児親子を対象にした外遊びの機会づくり「プレーパークノキシタ」への協力を継続している。

## ＜その他の遊び場＞ ⑦

### ⑦ <<連携>>楽農村たき火会 計8回のべ149名 【ハタチ基金助成】

岩沼市玉浦地区の現地再建区域の農家が運営する市民農園における、農地の環境を活かした遊び場「楽農村で遊ぼう」はコロナ禍で休止していたが、広報規模を小さくし、「楽農村たき火会」として再開している。新しくプレーパークを始めようとしている方や、地域でコミュニティの形成や子どもの居場所づくりをしている方、始めたい方、手伝いたい方が出会う場にもなっている。

### (3)他団体が実施する企画の開催支援等

2023年度は、「しばらくお休みしていたけれど…」という協力依頼も増え、ほぼコロナ禍以前のような形での企画開催に戻ったような印象だった。まちづくりの新しい取り組みや、プレーパークの開催につながる地域コミュニティの醸成に資する活動への協力依頼もあり、再開した地域のほか、新しくつながった地域からの協力依頼も含め、下記13件の依頼を受けた。

- 中荒井町内会「キッズサロン」 7/12(水)
- ドリーム幼稚園父母会 イベント協力 8/1(火)
- 上荒井町内会夏祭り 協力 8/5(土)
- 井土プチマルシェ 協力 8/11(金・祝)
- あらい七夕夏まつり 協力 8/11(金・祝)
- 八本松児童館(太白区)「あそぼうさい」協力 9/2(土) (同館隣接八本松公園で)
- ふうどばんく東北 AGAIN・ランチ仙台「みんなのマルシェ」協力 9/3(日)
- ふうどばんく東北 AGAIN「富谷街道まつり」協力 10/1(日)
- 井土プチマルシェ 協力 10/28(土)
- 六郷東部ふるさと交流祭 協力 10/29(日)
- 東北福祉大学学生サークル「おいまわしセツルメント」協力 11/25(日)
- わたしのふるさとプロジェクト「第9回 鎮魂の花火」協力 3/2(土)
- ふうどばんく東北 AGAIN「AGAIN子どもまつり」協力 5/3(金)

### (4)交流サロン「縁側倶楽部」等の支援活動の実施 【真如苑寄付事業】

遊び場と連携し世代を超えた交流を目指した交流サロン「縁側倶楽部」は、今年度も広報を限定しての開催となったが、荒井東・久保田東の2か所で計11回実施した。

- ① 荒井東復興公営住宅集会所「荒井東縁側倶楽部」
  - ・7/10(月)「藍染スタンプ エコバック」
  - ・9/11(月)「蓮花でつくる ランタン」
  - ・11/13(月)「一閑貼りの根付け」
  - ・12/11(月)「貼り絵でつくる 干支『辰』」
  - ・3/18(月)「ほおずき お手玉づくり」
- ② 久保田東町内会集会所「久保田東縁側倶楽部」
  - ・7/24(月)「藍染スタンプ エコバック」
  - ・9/25(月)「蓮花でつくる ランタン」
  - ・11/27(月)「貼り絵でつくる 干支『辰』」
  - ・1/22(月)・2/26(月)「一閑貼りの根付け」
  - ・3/25(月)「ほおずき お手玉づくり」

### (5)「ふるさとの杜再生プロジェクト」等、沿岸部におけるみどりの再生活動への参画

「ふるさとの杜再生プロジェクト」のメンバーとして、沿岸部におけるみどりの再生活動に取り組んだ。本プロジェクトは、仙台市・市民・NPO・企業等の力を結集し市民参加型で海岸防災林をはじめとした東部沿岸地域のみどりの再生を図るものである。

## (7) 「のびすく若林」の運営への参画

2017 年秋に開館の親子ふれあいプラザ「のびすく若林」指定管理者の構成団体として運営（代表団体は NPO 法人せんだいファミリーサポート・ネットワーク）。週 3 日プレーリーダーを配置し、隣接する若林区ふるさと広場を活用した外遊びの機会をつくっている。その実績も評価され一昨年度から 2 期目の指定管理期間に入っている。

感染症対策として実施していた館内の午前午後入替制は終了、2023 年 6 月からは以前と同様に利用できるようになった。日常的な外遊びの取り組み「おそとのびすく」およびイベントの形をとる「おそとのびすくプレーパーク」を引き続き継続した。今年度は、せんだいファミリーサポート・ネットワークの職員も交替で外遊びの取り組みに参加することになった。外遊びを継続してきたことで、外遊びの「常連」とでもいべき親子が存在するようになり、初参加の親子が滞在しやすくなるような雰囲気づくりに一役買っている。また月 1 回出張形式で実施している「おそとのびすく in 木ノ下公園」についても、定着が進んでいる。

「おそとのびすく」「おそとのびすくプレーパーク」「おそとのびすく in 木ノ下公園」に参加している親子のなかには、当団体が実施する他のプレーパーク（「てくてくプレーパーク」「キッズファームでの遊び場」など）に参加する親子も出てきている。

## (8) 加瀬沼公園プレイパークの運営【宮城県委託事業】 10月～5月 計 36 回

「宮城県プレイパーク運営等業務委託」を受託（一般社団法人プレーワーカーズとの共同事業体）し、2023 年 10 月より県立加瀬沼公園内でプレイパークを開催した。

当初は、木立ちのあるエリアにプレーカーを配置し遊び場を開催、その都度完全撤収する形だったが、2024 年 3 月 23 日からは新しくできた管理棟脇に「プレイパークエリア」が開設されたため、そこに移転、道具類も現地に揃えながら継続的に遊び場を開催できる環境を整える段階に入っている。

多数の来園者のいる都市公園で、子どもが自由に遊べる場があることの価値を伝えていく場になっている。

## (9) 能登半島地震被災地域へのプレーカーの派遣

2024 年元旦に発生した能登半島地震の被災地地域支援として、現地で実施される遊び場活動について、4 月より遊び道具や材料を積んだプレーカーを派遣した。派遣先は、震災発生直後から「公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン」と連携して現地で子ども支援活動に取り組んでいる「一般社団法人プレーワーカーズ」が実施する取り組みで、当初 5 月までの予定だった派遣は 2024 年度まで継続することになった。なお、3 月 31 日・4 月 1 日の輪島市内での遊び場へのプレーリーダーを派遣も行なっている。

## 9. 組織運営について

2023 年度は、現中長期計画の二年目となる。同計画の「調査研究・政策提言や団体マネジメント力をつけるため、事務局体制を強化すると共に、中長期を見据えた人材の確保・育成を可能にする仕組みをつくる。職員の雇用方法や働き方についても検討を行う。」という方針を受けて、海岸公園・ネットワーク事業（北山活動ベース）・事務局それぞれの人員体制を見直して 2 年目となった。新体制のもと、仙台市事業・県事業・助成事業いずれも内容的には拡充、外部との連携を通じて冒険遊び場の普及に向けた将来像が見えてきていると言える。ただし、単年度の事業も増える中で財源は安定せず、単年度収支は赤字となっており、長期的な収支見通しや人材育成の方向性について、引き続き検討が求められる状況となっている。

# 2023(令和5)年度 事業の様子

公式のホームページも、併せてご覧ください。→  
[\(https://bouken-asobiba-net.com/\)](https://bouken-asobiba-net.com/)



## ①海岸公園冒険広場の着実な運営と、周辺も含めた展開

海岸公園冒険広場の日常と自主事業



正月の遊びのおもちゃをつくろう



藍の植付け

## ②震災被害の大きかった地域を中心に取り組む遊び場づくり等

東六郷であそぼう！  
 田んぼにイナゴを探しに行こう



久保田東地区と  
 荒井東市営住宅で  
 継続している  
 「縁側倶楽部」



井土地区の地域行事  
 井土プチマルシェでの  
 カニ釣りコーナー

**久保田東縁側倶楽部**

**干支「辰」の貼り絵**

**11月27日(月)**  
 13:30～15:00  
 会場：久保田東集会所

材料費 **500円**

※当日の材料は写真と異なる場合がございます。

- ・11月「縁側倶楽部」を開催します。
- ・自由参加費なしで参加いたします。
- ・参加費の滞りなく、当日の開催が仮決まりました。
- ・人数、参加人数と、開催に不安がある場合は早急にご連絡ください。

※平日から、昼間、事前申し込み制ではなく参加費、費用のある方は、ぜひお早めにお申し込みください。

【主催】NPO法人久保田東縁側倶楽部  
 〒985-0801 久保田市東区 1-10-10

### ③地域住民による遊び場づくり活動の促進・支援



プレーパーク交流会



遊び場開催支援  
(貝ヶ森プレーパーク)

みやぎプレーリーダー養成講座

### ④子ども・子育て支援計画の策定も受けた、調査・提言・実践活動

仙台市プレーパーク活動等普及啓発事業  
「あそびば仙台」

11月: 台原森林公園  
自由広場

8月: 西公園南側地区となり広瀬川河川敷



↑  
「遊びの原風景」調査の発信

井上きみどりさんに描いていただいた漫画のHP公開

加瀬沼公園  
プレイパーク



### ⑤のびすく若林と連携した、乳幼児親子への遊びの大切さの発信

てくてくプレーパーク  
(七郷中央公園)



のびすく若林ブログより  
(プレーリーダーの発信)



おでかけててくてくも実施  
(あっぷる保育園)

